

# DOPPELGÄNGER®

## 伸びる輪行キャリングバッグ DCB298-BK 取扱説明書

20160722  
製造番号：210716

### ■ 取扱説明書

本製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。  
安全に使用して頂くため、必ず説明書をよくお読みのうえ正しくご使用ください。  
また、お読み頂いた後も、この説明書は大切に保管してください。

### ■ Instruction

Read this instruction manual and make sure you thoroughly understand its contents before using this product.

This product is designed and manufactured for use in Japan only.

We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside

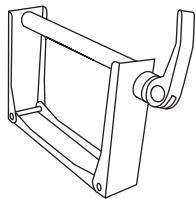
Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.

### ■ ご使用前に

- ・本製品は自転車用の輪行バッグです。それ以外の用途に使用しないでください。
- ・品質には万全を期しておりますが、使用前に破損が無いか確認してください。
- ・本製品が破損した場合は、使用しないでください。
- ・外装用の袋は、乳幼児や小さなお子さまにとって窒息の危険がともないます。開封後は各地方自治体の廃棄区分に従い処分してください。

### ■ 使用、安全上の注意事項

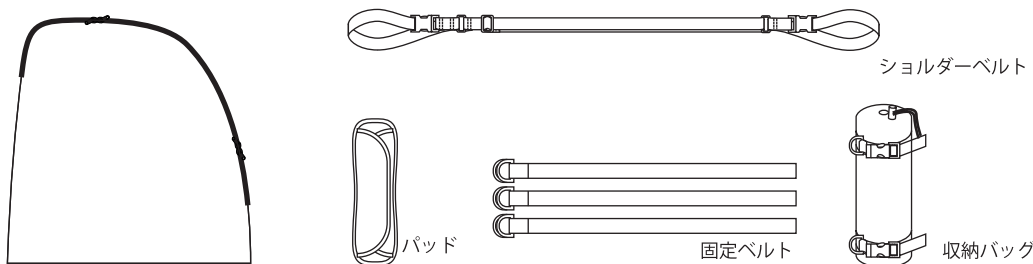
- ・火のそばに置かないでください。燃える可能性があります。
- ・無理に自転車を収納したり、強い衝撃を加えると破損する原因になります。取り扱いにご注意ください。
- ・防水仕様ではありません。濡れると製品の内側にも浸透しますので、雨天でのご使用時はご注意ください。
- ・使用時の摩擦等により色落ちや色移りの可能性があります。
- ・アイロンは掛けしないでください。変形や変色の原因になります。
- ・直射日光のあたる場所に長時間放置しないでください。変色や色あせ、色移りの原因になります。
- ・濡れたり、汚れたまま放置するとカビ・汚損の原因となります。きれいに拭き取ってから保管してください。
- ・車体への傷が心配な場合は、緩衝材等の使用をおすすめします。
- ・車輪をフレームに固定する際、しっかりと固定してください。不十分だと小傷が付きやすくなります。
- ・輪行される場合は、ご使用の各種交通機関の規定に従ってください。
- ・廃棄の際は各地方自治体の廃棄区分に従ってください。
- ・市販のエンド金具（別売）を必ずご使用ください。エンド金具を取り付けずに本製品を使用した場合、ディレーラーやフォークエンドが変形・損傷する可能性があります。



### ■ 製品仕様

- ・適合車種：大径車（カゴなどを取付けている場合、適合しない場合もあります。）
- ・製品サイズ（収納時）：W13×H24×D13cm，（展開時）：W83×H83×D21cm
- ・重量：約 450g（付属品を除く本体重量）
- ・付属品：固定ベルト（3本）、パッド付きショルダーベルト（1本）、収納バッグ（1個）、取扱説明書
- ・材質：ポリエステル 原産国：中国

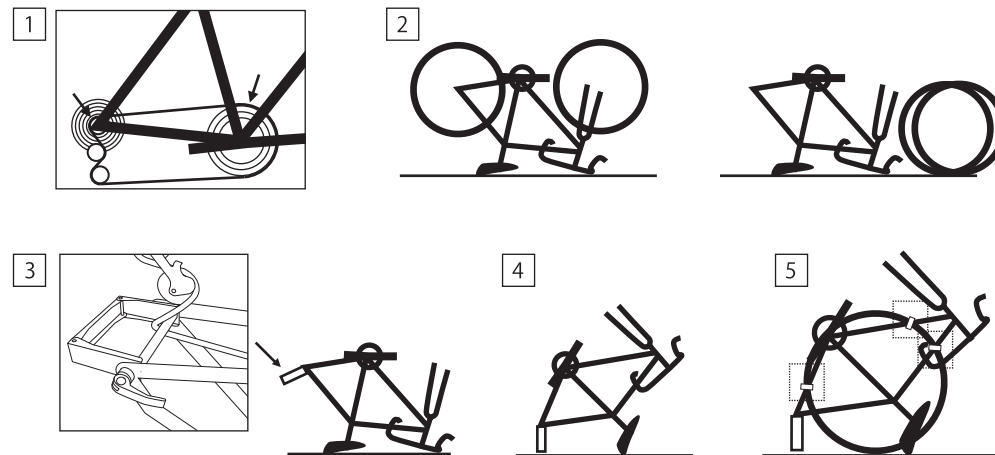
### ■ 各部名称



### ■ 使用方法 ※イラストは実際の製品の形状と異なる場合があります。

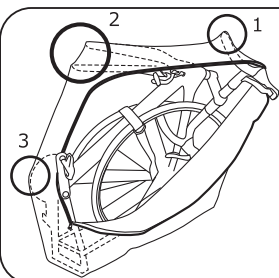
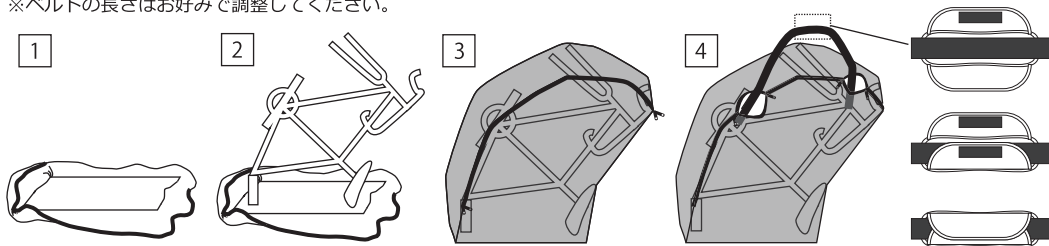
#### 【自転車の準備】

- 1) チェーンの位置をフロントギアでは一番外側（一番大きいギア）に、リアギアでは一番外側（一番小さいギア）にしてください。
  - 2) 前輪と後輪をはずします。（この時、自転車の天地を逆にすると作業が楽に行なえます。）
  - 3) リアディレーラーを保護するため、後輪の軸受け部分にエンド金具（別売）を取り付けます。
  - 4) エンド金具とサドルが地面側に来よう自転車を立てます。
  - 5) はずした前輪・後輪を自転車本体を挟むようにしてセットし、付属の固定ベルトで固定します。
- ※自転車フレームを傷から守るため、チェーンやギアなどの突起物にカバー等を付けることを推奨します。  
※エンド金具（別売）を必ず取り付けてください。  
※本製品は弊社 8xx 系や 7xx 系フレームなどの折り畳み式フレームを対象としたものではありません。



【自転車を輪行袋に入れる。】

- 1) ファスナーを全開にし、底面ができるかぎり露出した状態で輪行袋を床に配置します。
- 2) 底面のイラストにならい、ディレーラーとサドルの方向に気をつけながら自転車を袋の底面に置きます。
- 3) 自転車が底面中央に配置されている事を確認の上、ファスナーを最後までゆっくりと締めてください。  
※生地を伸ばしながら、ペダル、ギア、フロントフォークなどの引っ掛かりを避けながら入れてください。
- 4) ファスナーの隙間からショルダーベルトを通し、自転車フレームと固定します。  
※輪行袋からショルダーベルトを取り出す最適な位置まで、各ファスナー取っ手を移動させてください。  
※ショルダーベルトのバックルを使い、両端を輪状にして自転車フレームに固定します。  
※バックル固定が不十分な場合、固定がはずれ自転車が落下する危険があります。カチッと音がするまでしっかりと固定してください。  
※ベルトの長さはお好みで調整してください。



■ 収納のコツ

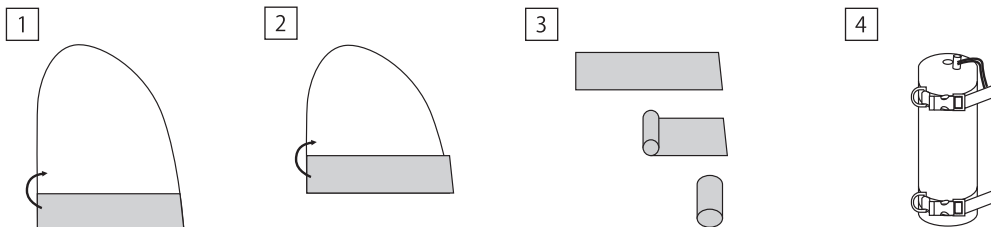
ジッパー部分は伸びないため、一気にジッパー部を被せようとする、左記突起物が邪魔になり、入らないことがあります。生地全体を平均的に伸ばしながら、まずはジッパー部が突起物（ハンドル、フロントフォーク、チェーンホイール）をひとつずつ順に越えるよう被せてください。

1) ハンドル部、2) フロントフォーク、3) チェーンホイールの順番に被せていくと、サイズの大きな自転車でも無理なく入れることができます。

※ジッパー部を力任せに引っ張らないようご注意ください。ジッパー部の破損に繋がります。

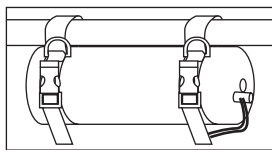
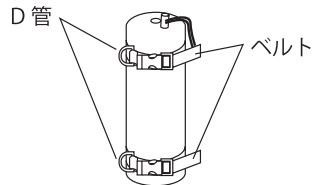
■ 収納方法 ※イラストは実際の製品の形状と異なる場合があります。

- 1) 自転車を取り出した輪行袋を地面に広げ、シワを伸ばします。
- 2) 底面の幅にあわせて、折りたたんでいきます。
- 3) 帯状になるまでたたんだ後、筒状に生地を巻き込んでいきます。
- 4) 筒状になった輪行袋を付属の収納バッグに収納します。

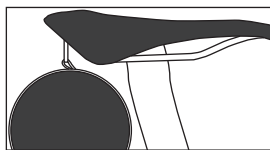


■ 収納バッグの固定方法 ※イラストは実際の製品の形状と異なる場合があります。

ベルトで自転車フレームと固定したり、D管を利用し、サドルやリュックなどに吊り下げて固定することができます。



フレーム固定



D管吊り下げ固定